

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野 (1/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに先端医療総合特区 (静岡県)	4.2	4.0  進捗度 ・その他医療関連製品の開発 140%  ・医療機器生産金額(県内) 58%  ・製造業等の企業立地件数 117%	4.1  規制の特例等 ・国内品質業務運営責任者の資格要件について等  財政支援等 ・医療機器等開発・参入支援事業  ・総合特区支援助利子補給金  地域独自の取組 ・沼津高等専攻科「医療福祉機器開発工学コース」の開設等	4.4	<p>・引き続き、特例措置を活用して大きなビジョンの実現を目指して産官学民の協働による着実な進展が見える。国内外の広範囲な連携を拡充し、オープンイノベーションの拠点づくり推進に注力していることは高く評価される。</p> <p>・地域の産業、医療、行政の主体同士が協調してヘルスケアの技術開発クラスターを作り、実際に製品開発が進んでいることを評価。先進医療に向けた診断装置・診断薬の開発も期待できる。</p> <p>・新たなイノベーションの創発に更なる注力をはかるとともに、地元・誘致企業の生産規模拡大、海外企業の積極的誘致を期待したい。</p> <p>・山梨県との医療健康産業政策における連携が進んだことで、新しい資源効果を期待。合同プロジェクトの進展における助走的な取組みが見られる点を評価したい。</p> <p>・評価指標(3)「医療機器生産金額」及び評価指標(4)「製造業等の企業立地件数」の代替指標については、特区の目標とかい離しており、特区の事業に特化した指標の検討が必要である。</p>